

令和7年度第1回千葉南警察署協議会

1 開催日

令和7年6月24日（火曜日）

2 開催場所

千葉南警察署

3 出席者

・協議会委員8人 ・警察署9人

4 業務報告

（1）管内情勢及び業務推進状況について

（2）警察官の制服について

（3）警察官採用募集について

5 警察署からの諮問事項

なし

6 委員からの要望・意見等

（1）【要望】学園前交差点において、歩車分離式信号機の運用を要望する。

【回答】同交差点においては、歩車分離式の運用について、車両の交通量や歩行者の通行量等の安全と円滑の両面を検討した結果、現状の右直分離式が最適と判断し運用しております。

（2）【質問】交差点においてドライバーから自転車の視認性を高めるため、自転車用停止線を前出しして設置することは可能か。

【回答】当署管内における自転車専用通行帯は、全て停止線を前出ししております。

しかし、それ以外の道路については、自転車と車の走行が混在しており、二輪車等の走行に混乱を来す可能性があるため実施しておりません。

（3）【質問】遊歩道における安全対策について、歩行者と自転車との接触を回避するため、下り坂においてイメージハンプ等の注意マークを設置してはいかがか。

【回答】道路管理者と関係機関・団体と協議や提案等を行い、様々な角度から検討・提案を行って参ります。

(4) 【質問】 遊歩道における通行ルールを、例えば地域協定というような形で明確化するとともに、地域住民との話し合いの場を設ける等、通行ルールを周知することは可能か。

【回答】 現在、幅広い世代の方に対して交通安全教育を実施しておりますが、今後も地域の方々が集まる場等において警察官を派遣し、交通ルールの周知を図りたいと考えております。

(5) 【質問】 誉田東小学校付近の交差点について、道路幅員が狭いため、特に朝の通勤通学時間帯には右折待ち車両の渋滞により危険を感じる人が多い。同交差点に右折専用レーンを設置することは可能か。

【回答】 同交差点における右折レーンの設置には、道路の拡幅等の条件が必要となります。まずは、信号機サイクルの変更等について検討させていただきます。

(6) 【質問】 JR誉田駅付近は、通勤通学時間帯の渋滞が激しく、歩行者が渋滞車両の陰に隠れてしまい、横断歩道を渡る際に危険を感じる。交差点における有効な安全方策やゼブラストップの現状についてお聞かせ願いたい。

【回答】 ゼブラストップについては、全国平均より低い状況ではありますが、県警の重要課題のひとつである「自転車とゼブラストップ対策」について、特に自転車専用通行帯の設置されている地域における、横断歩道対策と併せた重点的な活動を行っております。

(7) 【質問】 交通取締り方法について、警察官が隠れるような形で取締りを行うよりも、姿を見せて注意喚起する方が交通事故防止効果が高いのではないか。

【回答】 現在、横断歩道の近くで自転車の取締りを行いながら、同時に違反車両に対する取締りを行うという車に対する抑止効果が期待できる方法も実践している一方、見せる活動のみでは抑止効果が見られないというケースもあるため、取締り活動と啓発活動の両面から取組を行っております。

(8) 【質問】 来年度から施行される自転車に関する法改正については、その効果を最大限に活かすためにはその周知方法が重要であると感じるが、有効な周知方法についての検討はいかがか。

【回答】 当署においても、ホームページを有効活用した周知方法について検討させていただきます。併せて、現場における活動に重点を置いた周知も徹底して

行って参ります。

(9)【質問】DVや夫婦間トラブル等における警察と関係機関との連携状況について、お聞かせ願いたい。

【回答】把握した児童虐待については、児童相談所と連携して対応しております。

また、DVやストーカー等についても、警察署のみならず県警本部や行政とも連携した対応を行っております。

7 答申等に対する措置結果

なし

8 その他

委嘱状の交付を実施した。